

平成24年度「ながさき水産業大賞」の受賞者決定について

地域の特色を活かした先進的な活動を展開し、成果を上げている漁業者・組織等を表彰する「ながさき水産業大賞」の受賞者が決定しましたので、お知らせします。

なお、本事業は平成21年度から実施しており、今回が4回目となります。

記

1. 趣旨

長崎県水産業振興基本計画に沿って、地域の特色を活かした先進的な活動を展開し、成果を上げている漁業者・組織等を表彰することにより、水産業者の誇りと励みとする。

また、受賞者の功績を広く県民へ紹介し、水産業に対する消費者の理解を促進する。

2. 実施主体

主催：ながさき水産業大賞運営委員会

(構成) 長崎県

長崎県漁業協同組合連合会、長崎県信用漁業協同組合連合会、長崎県漁業士連絡協議会、
長崎県漁協女性部連合会、長崎大学水産学部、長崎県市長会、長崎県町村会、NHK
長崎放送局、長崎新聞社 (順不同)

3. 24年度の概要

(1) 応募総数	13点
(2) 入賞者数	
①長崎県知事賞	2点
②長崎県漁業協同組合連合会長賞	2点
③特別賞	2点

4. 表彰式等の開催 (予定)

(1) 期日：平成24年10月27日(土) 11時30分～

(2) 場所：東洋九十九ベイホテル(島原市)

※「ながさき実り・恵みの感謝祭2012」と併せて開催予定です。詳細は決まり次第お知らせします

5. 受賞者の概要

別添資料のとおり

平成24年度「ながさき水産業大賞」受賞者の概要

1. 長崎県知事賞

部門名	受賞者名	概要
収益性の高い経営体づくり	小長井町漁業協同組合 (諫早市)	シングルシード（一粒種）を用いたマガキ養殖に取り組み、「華漣(かれん)」と名づけ東京のオイスターバーに出荷して高い評価を獲得。さらに、第1回かき日本一決定戦(殻付き生牡蠣)では初代王者の栄誉を得るなどし、新たなブランドを確立することで地域の活性化に大きく貢献した。
活力ある漁村づくり	峰東女性部キッチン (対馬市)	「地元の美味しい水産物を子供達に食べてもらいたい」という地元の要望にこたえた、地元産品を活用した水産加工の取組みが、対馬市内の全町の学校や養護老人ホームで給食に採用されるまで発展。水産物の付加価値向上、食育の推進に大きく貢献し、女性の社会参加の模範となっている。

2. 長崎県漁業協同組合連合会長賞

部門名	受賞者名	概要
収益性の高い経営体づくり	対馬真珠養殖漁業協同組合 青年部 (対馬市)	長期に渡ってアコヤガイ赤変病の対処方法を研究、発症低減に尽力。研究の成果は、平成23年度の全国の品評会で「浜揚げ・花珠」の2部門で最高位を受賞するなど評価されており、本県の養殖技術向上に大いに貢献した。平成23年度全国青年・女性漁業者交流大会で農林水産大臣賞受賞。
活力ある漁村づくり	奈留町一本釣り研究会 (五島市)	ケンサキイカの水揚減少を機に同研究会を発足。学習会を開催し、タチウオ曳縄漁法の普及に努めた結果、水揚量が36.6トン(H19)から94.2トン(H20)に増加。現在も新技術の開発に取り組む。また、後継者対策ではIターン者に対しても、技術指導を惜しまず地域の模範となっている。

3. 特別賞

賞の種類	受賞者名	概要
特別賞	長崎大学水産学部学友会 (長崎市)	漂着ゴミの問題を機に平成4年学部生が自ら提案し、海浜清掃活動を開始。学部生の志が受け継がれ続け、15年間が経過した現在では、夏季と秋季の年2回、毎回60~100名が参加して行われる、学生による地域の環境保全のボランティア活動として定着・貢献している。
特別賞	新上五島町栽培漁業推進協議会 (新上五島町)	昭和60年度に放流用アワビ種苗(5万~20万個)の生産を開始。カサゴ(5~7万尾)、オニオコゼ(約2万尾)、サザエ(約2万個)の種苗を生産・放流しており、地域の栽培漁業の中核。放流漁場では放流アワビ混獲率は80%前後もあることなど、種苗放流の効果も明らかにした。